

平成26年度 第1回 山梨県スポーツ推進審議会

日 時 平成26年8月25日(月) 13時30分から

場 所 山梨県庁 防災新館4階 412会議室

次 第

(1) 開 会

(2) 会長あいさつ

(3) 議 事

[審議事項]

① 県体育協会等からの要望書について (資料1、資料2、資料3)

② 視察施設概要について (資料4)

③ スポーツ施設の整備について (資料5)

[報告事項]

① 平成26年度全国高等学校総合体育大会の結果報告について (資料6)

(4) 閉 会

山梨県スポーツ推進審議会委員

任期：平成25年7月18日～平成27年7月17日

領域	No.	氏名	所属・役職	備考
学 識 経 験 の あ る 者	1	いいだ 慧子 飯田 慧子	山梨県スポーツ推進委員協議会 会長	
	2	おかべ かず子 岡部 和子	山梨県女子体育連盟 会長	副会長
	3	かとう すみゑ 加藤 すみゑ	大国陸上クラブ 指導者	
	4	かわかみ たかし 川上 隆史	山梨学院大学カレッジスポーツセンター (山梨学院大学 教授)	
	5	すみた くみ子 炭田 久美子	一般社団法人 山梨クィーンビーズバスケットボールクラブ (運営広報)	
	6	たくしがわ ひつお 田草川 光男	公募委員	
	7	つじ 知恵 辻 知恵	山梨中央銀行女子バレーボール部 総監督	
	8	つちや だいし 土屋 直	公益財団法人 山梨県体育協会 副会長	会長
	9	なかむら かずひこ 中村 和彦	山梨大学教育人間科学部 教授	
	10	なかむら みのる 中村 美	公募委員	
	11	ふじもと ちかみ 藤本 智文	NPO法人ルーデンススポーツクラブ クラブマネージャー	
	12	まつもと じゅんや 松本 純也	山梨県高等学校体育連盟 会長 (日川高等学校 校長)	
	13	さいとう まさと 斉藤 正人	山梨県小中学校体育連盟 会長 (甲府市立上条中学校 校長)	
関係行政機関の 職員	14	おさだ みまこ 長田 美紀子	山梨県町村教育長会 会長 (山中湖村教育委員会 教育長)	
	15	ふじもり けんじ 藤森 顕治	山梨県都市教育長会 会長 (北杜市教育委員会 教育長)	

要 望 書

山梨県教育委員会
教育長 阿部 邦彦 殿

公益財団法人山梨県体育協会
会 長 横 内 正 明



平素から本会の事業推進につきまして、格別なる御支援を賜り深く感謝申し上げます。

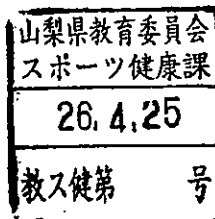
さて、昨年9月、2020年オリンピック・パラリンピック競技大会の開催地に東京都が決定いたしました。

オリンピック・パラリンピック競技大会の開催は、国民に夢と希望をもたらすばかりでなく、青少年のスポーツへの関心をより一層高め、わが国のスポーツ振興の原動力となるものと考えます。

山梨県では、平成25年11月22日に「山梨県東京オリンピック・パラリンピック推進本部」を設置し、事前合宿等の誘致に向けた取り組みを進めています。事前合宿等の誘致は、本県にいなながらオリンピックに出場する選手のプレーを間近に見ることができる唯一の機会であるとともに、青少年のスポーツへの関心を高める絶好の機会であります。幸い、本県は開催地である東京都と隣接する地の利や世界文化遺産の富士山等、事前合宿を誘致する上で恵まれた条件を有しています。

一方、体育施設に目を向けますと、小瀬スポーツ公園をはじめとする多くの県有施設は、昭和61年の第41回国民体育大会の開催に併せて整備された施設であり、建設から30年近くが経過し、施設の老朽化も顕著な状態となっております。事前合宿等の誘致を効果的に進めていく上でも、施設等の整備は欠かせないものと考えております。

つきましては、この機会に事前合宿等の受入れを見据えた県有体育施設の整備や改修等について、格段の配慮を賜りたく、理事会の決議をもって要望をいたします。



2020年東京オリンピック・パラリンピック開催に向けた事前合宿等の誘致に係る
 県有体育施設の整備についての要望

NO	要望事項	施設名	団体名	備考
1	総合型室内水泳場の建設 (競技と福祉厚生を兼ね備えるバリアフリーアリーナ・太陽光発電採用)		山梨県水泳連盟	H16年度から要望 水泳競技誘致
2	緑が丘スポーツ公園体育館の冷暖房設備等の整備 ・冷暖房設備の整備、スタッフ控室、ミーティングルームの整備 ・シャワールーム等の改修	緑が丘スポーツ公園	山梨県バレーボール協会	H18年度から要望 バレーボール競技誘致
3	審判器セット8台、アルミピスト8台の購入		山梨県フェンシング協会	フェンシング競技誘致
4	一級公認陸上競技場の新規設置	富士北麓公園	山梨陸上競技協会 2020東京オリンピック・パラリンピックキャンプ地等 富士北麓誘致連絡協議会(仮称)	陸上競技誘致
5	屋内補助競技場の新規設置	富士北麓公園	2020東京オリンピック・パラリンピックキャンプ地等 富士北麓誘致連絡協議会(仮称)	陸上競技誘致
6	本栖湖へのボート・カヌーコースの設置(1,000~2,000mコース、桟橋等含む)		山梨県ボート協会 2020東京オリンピック・パラリンピックキャンプ地等 富士北麓誘致連絡協議会(仮称)	ボート競技誘致 カヌー誘致 ボート誘致
7	県立艇庫、本栖湖青少年スポーツセンターの改修・改築 ・トレーニングルーム、シャワー室、ミーティングルームの整備	本栖湖 青少年スポーツセンター	山梨県ボート協会 山梨県カヌー協会 2020東京オリンピック・パラリンピックキャンプ地等 富士北麓誘致連絡協議会(仮称)	ボート競技誘致 カヌー競技誘致 カヌー競技誘致 ボート競技誘致
8	老朽化に伴う厩舎の更新	馬事振興センター	山梨県馬術連盟	馬術競技誘致
9	馬術障害物の購入及び障害置き場の設置	馬事振興センター	山梨県馬術連盟	馬術競技誘致
10	体育館の改修(メイン・サブアリーナ) ・レスリングマットの整備(3面)、冷暖房完備(減量対策)、ウエイトトレーニング場 ・シャワールーム(コンディションルーム)、トレーナールーム(コンディションルーム)等 の設備	富士北麓公園	2020東京オリンピック・パラリンピックキャンプ地等 富士北麓誘致連絡協議会(仮称)	レスリング競技誘致
11	テニスコート金網のフェンス設置	小瀬スポーツ公園	山梨県テニス協会	H22年から要望 テニス競技誘致
12	ビーチバレー競技施設の整備	小瀬スポーツ公園内	山梨県バレーボール協会	ビーチバレーボール 競技誘致
13	テニスコート間後方への「ついで」の設置	小瀬スポーツ公園	山梨県テニス協会	H20年度から要望 テニス競技誘致
14	精進湖への艇庫の増設(500mコース) ・フィジカルトレーニングスペース、シャワールーム、ミーティングルーム等の整備		山梨県カヌー協会 2020東京オリンピック・パラリンピックキャンプ地等 富士北麓誘致連絡協議会(仮称)	カヌー競技誘致

15	球技場、陸上競技場の改修 ・付帯施設として、シャワー室、トレーナー室、トイレ室、電光掲示板、得点板等の整備	富士北麓公園	2020東京オリンピック・パラリンピックキャンプ地等 富士北麓誘致連絡協議会(仮称)	ラグビー競技誘致 サッカー競技誘致
16	自転車競技場移動式タンカの購入	境川自転車競技場	山梨県自転車競技連盟	自転車競技誘致
17	自転車競技場テントの更新	境川自転車競技場	山梨県自転車競技連盟	自転車競技誘致
18	自転車競技場放送設備の更新	境川自転車競技場	山梨県自転車競技連盟	自転車競技誘致
19	テニスコートの8面増設	小瀬スポーツ公園	山梨県テニス協会	H20年度から要望 テニス競技誘致
20	テニスコートナイター照明の増設	小瀬スポーツ公園	山梨県テニス協会	H21年度から要望 テニス競技誘致
21	テニスコートへの屋根設置	小瀬スポーツ公園	山梨県テニス協会	H20年度から要望 テニス競技誘致
22	テニスコート東西部分へ階段式の観客席の設置	小瀬スポーツ公園	山梨県テニス協会	H22年度から要望 テニス競技誘致
23	馬事振興センター管理棟の新設	馬事振興センター	山梨県馬術連盟	馬術競技誘致
24	野外騎乗コースの整備	馬事振興センター	山梨県馬術連盟	馬術競技誘致

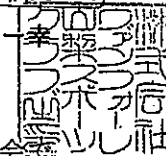
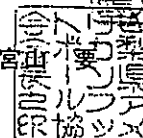
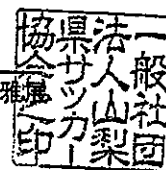
要望書

平成26年4月24日

山梨県知事 横内 正明様
山梨県教育長 阿部 邦彦様

総合球技場の建設について

山梨県サッカー協会	会長	宮島 雅
山梨県ラグビーフットボール協会	会長	有賀 健
山梨県アメリカンフットボール協会	会長	小宮 直
ヴァンフォーレ山梨スポーツクラブ	会長	海野 一幸



山梨県の今後のスポーツ施設の在り方について、スポーツ施設整備庁内検討委員会から議論していくことが、先の2月定例県議会において、一般質問に答えるかたちで県当局から説明がありました。2020年の東京オリンピック開催が決まり、スポーツに対する社会の関心が確実に高まるであろうことを見越し、今後の県内スポーツ施設整備を検討する動きは、誠に時宜を得たものと、スポーツに関わるものとして感謝しております。

さて、この検討において、サッカー、ラグビー、アメリカンフットボール（以下アメフトと記載）などフットボール系競技に関わる団体として、いまだ県内で未整備になっている「総合球技場」の建設についても議論され、ぜひ実現していただきたくお願い申し上げます。

県内では現在、野球は野球場、陸上は陸上競技場、水泳は水泳場など、各競技とも専用スタジアムで競技されています。この機会に、フットボール系競技も念願の専用スタジアムを実現させ、さらなる競技力アップ、競技人口の拡大、ひいてはスポーツを通じた地域活性化に大きく貢献していきたいと願っています。

専用スタジアム建設要望の背景、理由は以下の通りです。

①山梨はサッカーどころとして全国に知られています

全国高校サッカー選手権での韮崎高の長年の活躍、さらに山梨学院高の優勝といった輝かしい実績や、社会人サッカーでの甲府クラブ（ヴァンフォーレ甲府＝以下VF 甲府と記載＝の前身）の活躍など、山梨にはサッカー文化が根付いています。

②プロサッカーチームのVF甲府がJリーグで活躍中

VF甲府はJリーグの数あるチームの中で、最も地域に密着しているチームとして知られています。小瀬の山梨中銀スタジアムでのホームゲームには毎回1万人前後の観客が集まり、継続的イベントとしては県内最大規模を誇ります。スポーツ界では山梨のシンボリック的存在として山梨の名を全国に発信しているばかりでなく、集客による地域活性化、地域の元気創造にも貢献しています。

③高校ラグビー界において山梨は強豪県として知られています

日川高はラグビーの強豪校として広く全国に知られ、全国高校ラグビーフットボール大会でも輝かしい実績を残しています。最近では桂高（この4月から都留興譲館高）も台頭してきました。高校ラグビーをへて、全日本クラスの名選手を山梨は数多く輩出しています。

④山梨県は「アメフトの父」ゆかりの場所

清里のキープ協会設立者であるポール・ラッシュ博士は、日本にアメフトを紹介した人物として知られ「アメフトの父」とも呼ばれています。これを記念し、キープ協会には日本アメリカンフットボールの殿堂も造られ、日本アメフト界のシンボルとなっています。

山梨のフットボール系競技は、こうした歴史や伝統、話題、将来性を数多く持っています。専用スタジアムとなる「総合球技場」の建設には、それぞれが持つ「物語」や「話題」が後押しとなり、山梨の地域活性化につながる拠点となり得る、高いポテンシャルがあります。

山梨県は、首都圏に近いという立地条件や、全国有数の温泉地、フルーツ王国、四季折々の優れた景観といった県内への誘客に好条件がそろっています。誘客増による地域活性化を実現するには、誘客の動機付けが必要になります。今回の検討においては、東京オリンピック対策だけでなく、その後の継続的な施設利用、施設の地域活性化への貢献度といった点を考慮いただきたく思います。

サッカーを例に今後の可能性に触れますと、総合球技場という拠点に加え、練習グラウンド施設を整備することで①首都圏とのアクセスの良さ②ボディーメンテナンスでの温泉施設の利用③温泉地の宿泊施設による大勢の宿泊受け入れ能力といった優れたインフラを追い風に、将来的な誘客増（キャンプ地利用、大会誘致など）につながる期待があります。サッカーは少年、少女に最も人気のあるスポーツであることもポテンシャルを高めています。スポーツ振興くじ(toto)から建設助成金として30億円が見込める点も大きなアドバンテージと言えます。

総合球技場の建設は、こうした地域活性化に向けた多様な可能性も含んでいると確信しております。スポーツを核にした地域活性化への期待度も考慮いただき、総合球技場建設実現に向けた動きが進むよう、重ねてよろしくお願い申し上げます。